



最優秀賞に輝いた菅原修さん⑥

1/22

栽培技術の 平準化を図る

J Aいちご生産部会

令和8年度通常総会を開きました。令和7年度は出荷数量39ト（前年対比139・3%）、販売金額5535万円（同132・7%）と好調でした。令和8年度は、栽培技術の平準化や産地の知名度向上を図ることを決め、新部会長に千葉昭弘さんを選任しました。

1/16

稲作体験充実へ情報交換



各校が実施内容を報告し意見交換

令和7年度稲作体験事業にかかる意見交換会を開き、管内の小学校での稲作体験事業の内容や取り組みの成果などを発表し、生産者や青年部員などと共有しました。小学校からは「米の流通を学ばせたい」「米の保管施設を見学させたい」などの要望も寄せられました。

1/16

剪定作業を早めに進めて

J A果樹部会りんご専門部



リンゴの剪定のポイントを説明する遠藤上席普及員

リンゴ剪定指導会を管内2会場で開きました。一関農業改良普及センターの遠藤歩美上席農業普及員が実演をし、剪定のポイントを指導しました。3月は気温が高い予報が出ており、「生育が進むことが予想される。早めに剪定作業を進めてほしい」と呼びかけました。

1/22

メディカルヨガで健康に

J A女性部藤沢中央支部



メディカルヨガを実践する部員

第10回女性部交流会を開き、ヨガインストラクターの加藤さち子さんを講師に心身共に健康に過ごすためのメディカルヨガについて学びました。体を動かすことで体調が整い、またけがの防止につながるなど学びながら、自宅でできるヨガを実践しました。

1/19

令和8年産に向け指導会

J A金色の風栽培研究会



栽培のポイントを学ぶ生産者

岩手県フラッグシップ米「金色の風」の播種前指導会を開き、令和7年度の実績を基に、令和8年度の栽培管理を確認しました。生育ステージに応じた高温対策、中干し時期の見直しによる幼穂形成期の水の確保、紋枯病対策に取り組むよう指導しました。

1/28

コンテスト入賞者を発表 岩手県・JA全農いわて

令和7年度岩手県産米コンテストの表彰式が盛岡市で行われました。県内から「金色の風」21点、「銀河のしずく」93点が出品され、「至福の味、金色の風」コンテストで1位に千葉正吉さん（花泉）が輝きました。



▶表彰式に参加した皆さん



◀「至福の味、金色の風」コンテスト入賞者の皆さん

○「至福の味、金色の風」コンテスト

1位 千葉正吉さん（花泉）

3位 千厩高校

入賞 阿部晋さん（一関）

入賞 高橋正さん（花泉）

○「銀河のしずく」頂上コンテスト

入賞 千田康博さん（一関）

○「ひとめぼれ」H-1グランプリ

一関市花泉

1/29

グループ討議で意見交換 JA青年部協議会



テーマに沿って話し合う青年部盟友とJA役職員

JA青年部とJA役員との意見交換会を開きました。「創ろう！みんなの力で 元気なJA」をテーマに、JAの運営や今後の青年部活動に必要なものについてグループ討議形式で話し合いました。活発な意見が飛び交い、グループごとの協議内容が共有されました。

2/3

品質確保対策の徹底図る JAピーマン部会



最優秀賞に輝いた島山貴一さん

第26回通常総会を開きました。令和7年度の販売金額は4億623万円（計画対比90.5%）。令和8年度は、かん水装置の導入などによる尻腐れ果の発生抑制と生育確保の徹底、担い手組織の活動の拡大などを図り、販売金額4億9000万円を指します。

1/27

みんなで仲良く豆腐作り 花泉小学校



部員に教わりながら豆腐を作る児童

3年生31人は豆腐作りの体験学習をしました。JA女性部花泉中央支部の指導で、大豆から豆腐を作る工程に挑戦。初めて豆腐を作った金野仁杏さんは、「豆乳を加熱しながら混ぜるのが熱くて大変だったけど、初めて作れてとてもうれしかった」と話しました。

2/6

カボチャ料理2品を調理 JA女性部



協力しながら調理する部員

令和7年度第3回女性部講座でカボチャ料理教室「入賞作品を作ってみよう！」を開きました。令和7年度家の光大会料理コンクールの最優秀賞を受賞した山崎京子さん（川崎）、那須みつ子さん（東山）が講師を務め、解説や注意点を聞きながら完成させました。